



“もうすぐ一年生”



お母さん 入学準備は できましたか

“この間まで幼稚園だったのに…4月にはもう小学校。こんなことでみんなと同じようにやっていけるのかしら…”とお母さんたちからよくこんな話を聞きます。

新入学児童のいる家庭では、何か

と心づかいをしていることと思います。

そこで、入学前の子どもたちのしつけや、お母さんたちの心がまえなどについて、参考までにまとめてみました。

こどもの体調を知ろう

親が意外に気づかないのは、こどもの近視などの視力、耳がよく聞こえないといった症状です。

こどもが授業についていけないのでよくよく原因を調べてみて、初めてわかったということもあります。ふだんから先生とよく連絡をとり、こどもの体調をしっかりつかんでおきましょう。

自分のことは自分で

子どものできることは家庭でもきちんとさせておかないと、学校へ行っていろいろ困ることが多くあります。自立心のある子どもは、依頼心の強い子どもにくらべて、学校生活も自信をもって、楽しく送ることができます。

朝きげんよく起き、歯をみがき、顔を洗い、自分で洋服を着がえます。

こんなとき、お母さんが子どものそばでやかましくいっては駄目です。自分からすすんでやるようになるまで小言をいわず、急がず、気ながに習慣づけることが大切です。



友だちをつくろう

これまで家庭の中でお山の大将をきめこんでいたこどもも、学校に入ると周囲は、見知らぬ顔ばかりです。友だちを一日も早くつくることが楽しい通学につながります。

家にとじこもりがちなかどもは、外に連れ出して一緒に遊んでやったり、家にともだちをよんで、家庭を開放し、みんなと遊ぶようにするのもよいでしょう。

通学路は安全ですか

子どもを交通事故から守るためには、正しい交通ルールを身につけさせることが大切です。入学前にかかわらず通学路を2～3回ぐらい子どもといっしょに歩いて指導してください。信号や横断歩道のないところはとくに注意して、くりかえし間違いないよう習慣化するまで教えてください。

